

通信添削講座 試験問題 解説

「夫婦が営む建築設計事務所を併設した住宅」

プランニング

計画可能範囲を確認します。

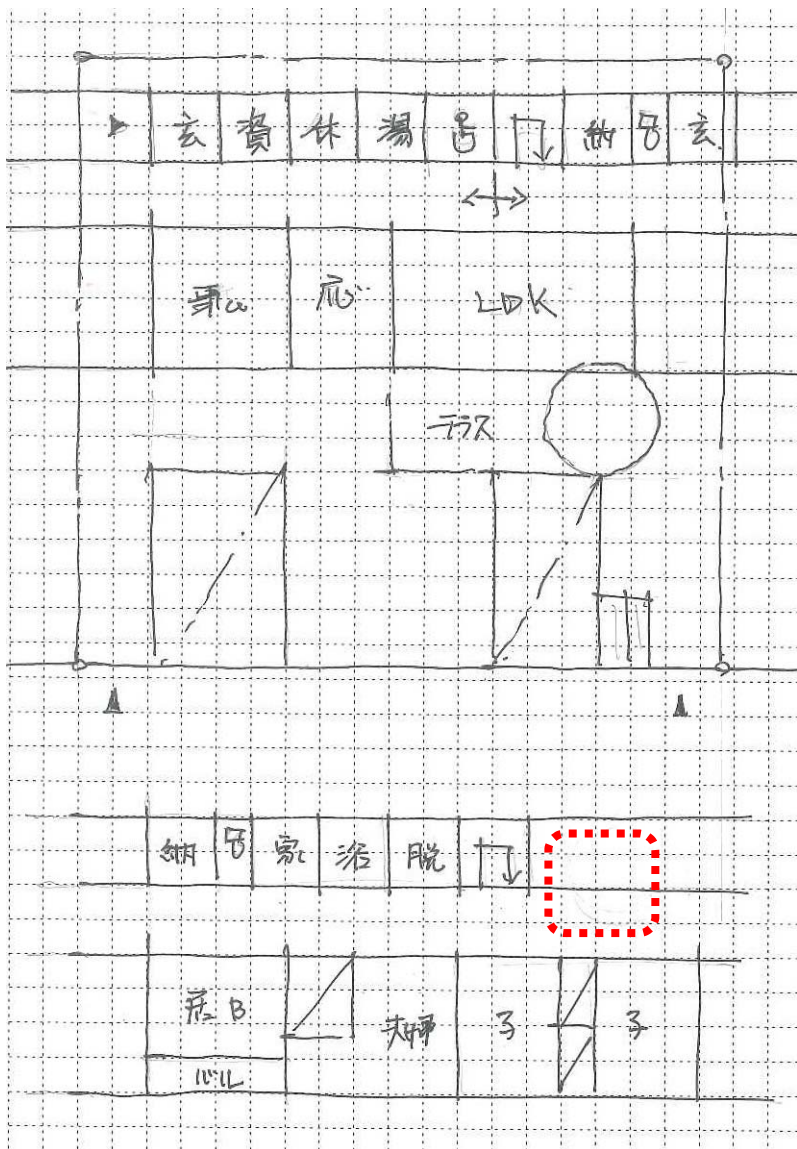
隣地境界線からの空きは2マス（最低1マス）、通路となる場合は2マスが基本でした。

要求室を並べる。

下図は、小部屋と廊下、居室のゾーンにラインを引き、単純に表の順番に室を並べています。

（ここで考えることは、まだしません）

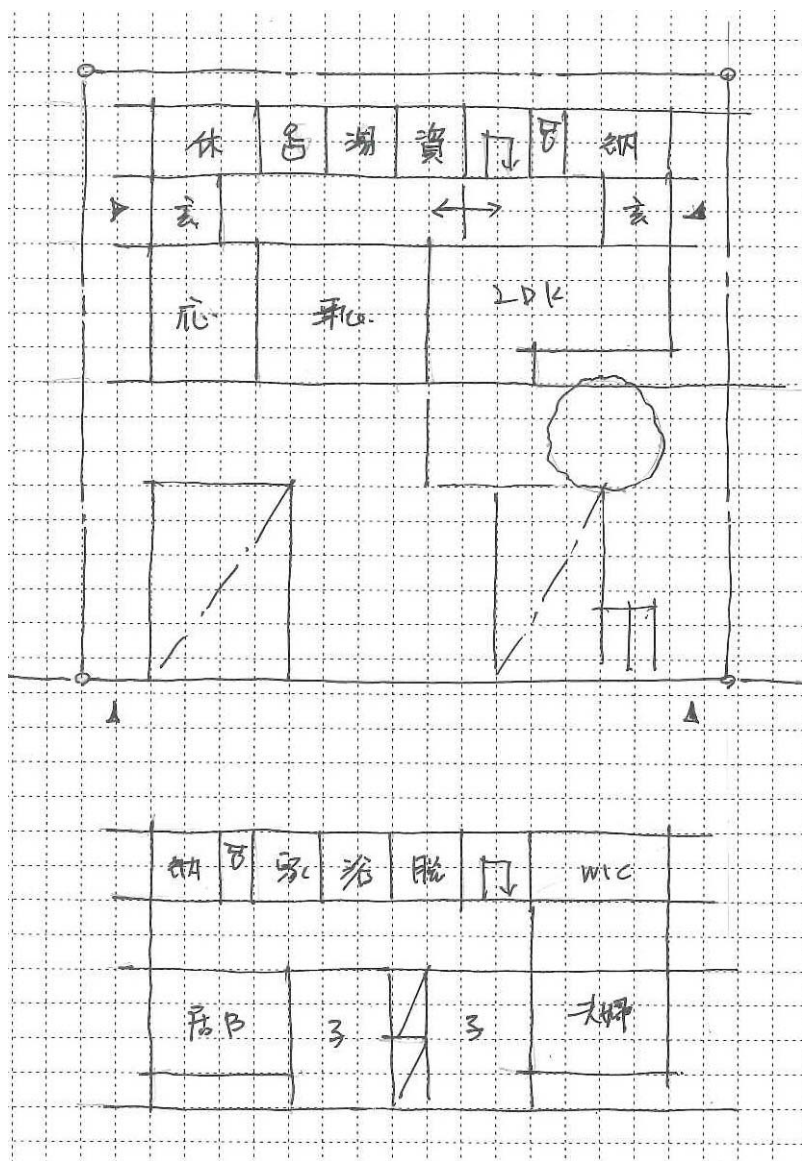
まずは
機械的に単純に並べる。



- 問題点を確認します
- ✓ 事務室をもう少し広くしたい
 - ✓ 休憩室も少し狭いかな
 - ✓ 応接室と多機能便所は玄関の近くがベター？
 - ✓ LDKが木にかかっている
 - ✓ 玄関が計画可能範囲の外に
 - ✓ 夫婦寝室はもう少し広く
 - ✓ 2階は北側に余裕あり

保険の保険プランが完成
ここまでの所要時間は20~30分

次に問題になっている点を1つ1つ見ていきます。
 玄関の位置を廊下部分に配置すれば、小部屋ゾーンにゆとりができます。



この段階で気になる点

✓ 住宅のアプローチが少し狭い？

くらいでしょうか。

ひとまず保険プランの完成です。

ここで延べ面積を確認してください。

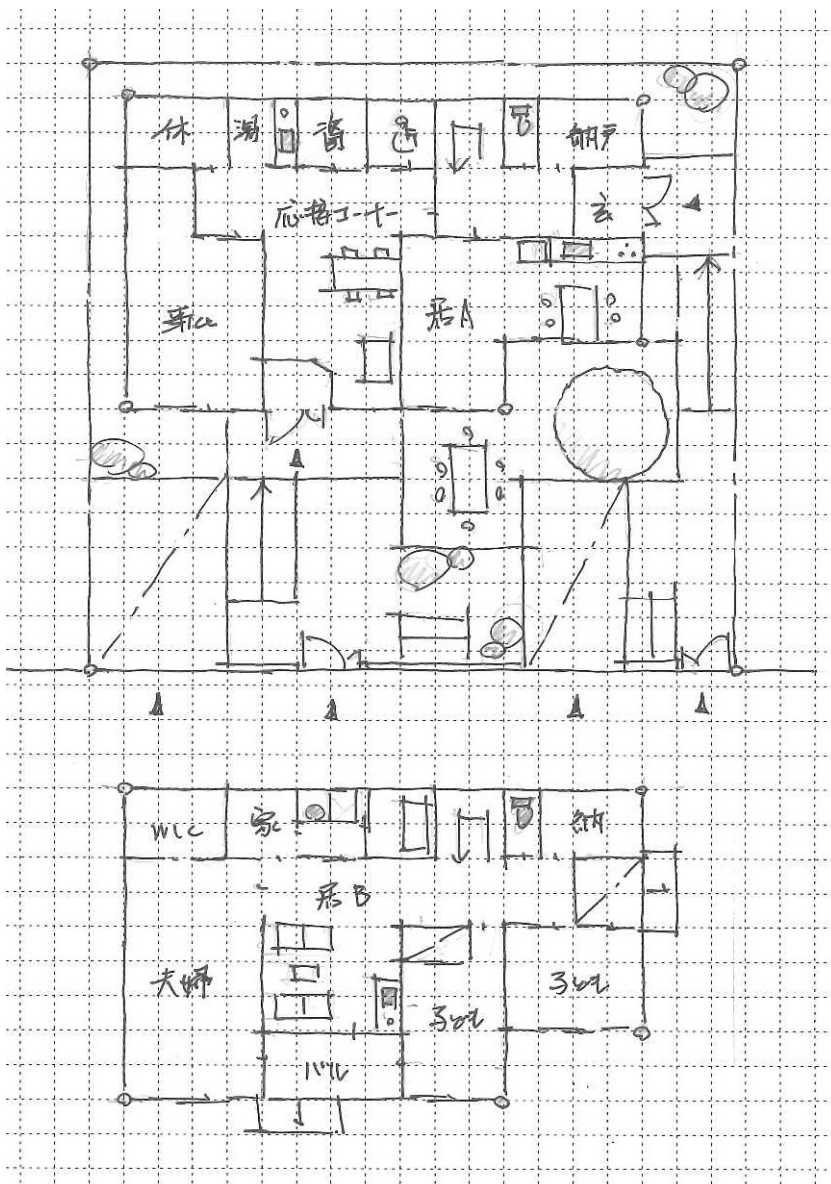
少し余裕がありそうです。

このまま作図に入ってもいいと思いますが、時間があれば少し発展させた案も考えてみます。

その前に、もう一度条件文のチェックを行なってください。

部屋の配置を変えるだけで、夫婦寝室も広くすることができそうです。

応接室はコーナーとしてもいい。
 という条件から、応接室に玄関を設け、事務所の玄関を南入りにすることを考えてみます。



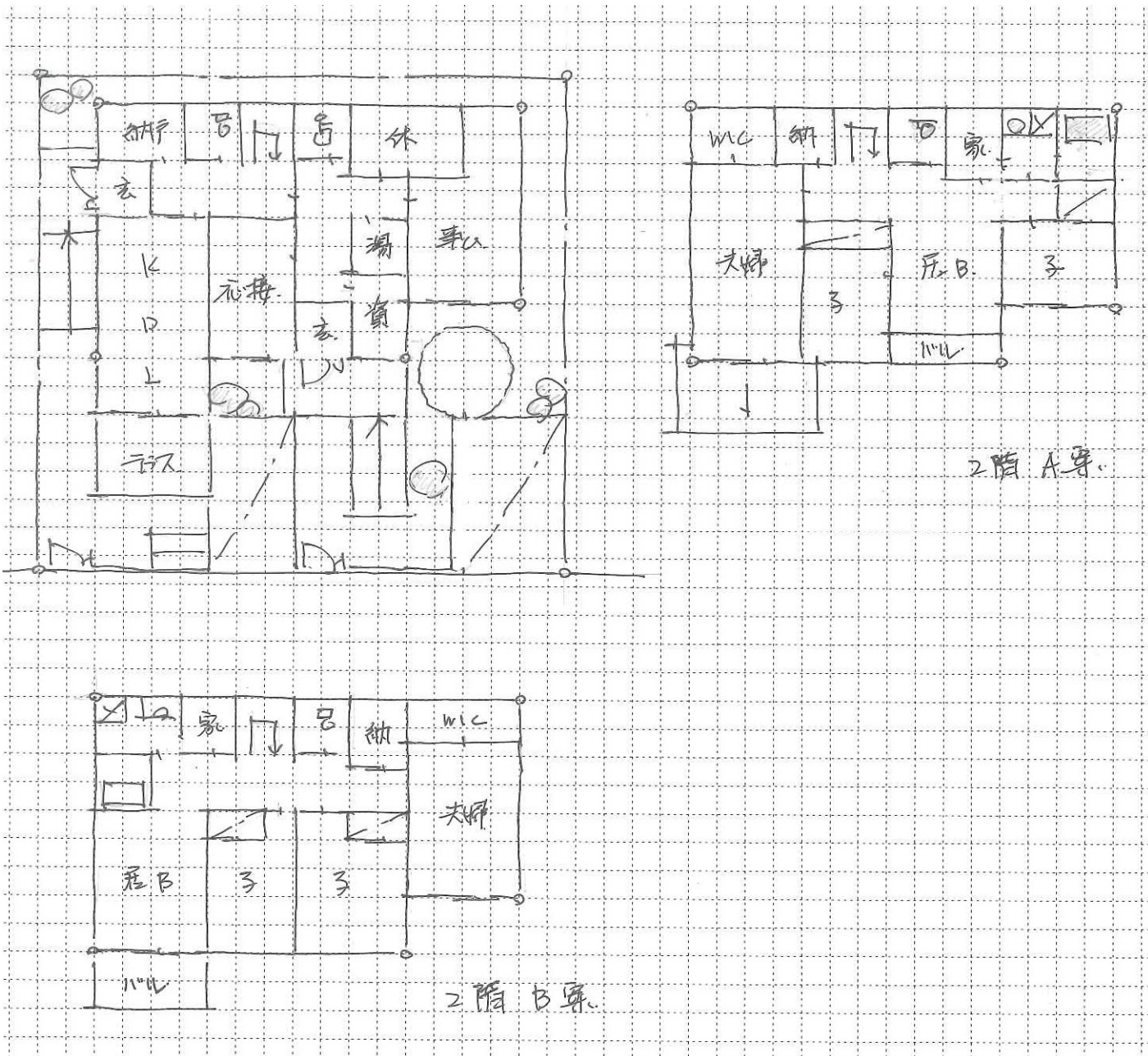
2階の平面形状を矩形にすることができませんでしたが、概ね、基本的なプランニングの方法でこのような形にはできると思います。

コツは、とりあえず並べてみることで、そして、問題点を抽出し、1つ1つ解決していくことです。
 大きな問題点から解決していき、予定時間になればその時点でのプランで作図に入ります。

別プラン

住宅を西側、事務所を東側に設けたプランです。

テラスと樹木は離れていても問題ありません。



樹木がやや建物に近いです。上から見ると、屋根と重なることになるとと思いますが、軒の高さでは、枝張りは5mないと考えられますので接触はしません。

もしくは、けらばの出を短くする方法もあります。もしくは、軽い減点を覚悟する。という考え方があります。

樹木を完全に避けたプランを考えると、作図時間がなくなる。こう判断した場合は、その時点で作図に入ってください。